

平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月8日

上場会社名 五洋インテックス株式会社
 コード番号 7519 URL <http://www.goyointex.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大脇 功嗣
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 小林 光博

TEL 0568-76-1050

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	1,291	15.1	183		218		172	
29年3月期第3四半期	1,520	29.4	100		104		93	

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 171百万円 (%) 29年3月期第3四半期 87百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	9.04	
29年3月期第3四半期	5.73	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	1,659	1,110	66.9
29年3月期	1,836	828	45.1

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 1,110百万円 29年3月期 828百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年 3月期の連結業績予想(平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,800	16.8	140		180		140		7.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) 株式会社キュアリサーチ、除外 1 社 (社名) 株式会社レックアイ
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	20,203,174 株	29年3月期	16,603,174 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	4,370 株	29年3月期	4,179 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	19,020,769 株	29年3月期3Q	16,333,610 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、設備投資や個人消費の持ち直しの動きにより、緩やかな回復基調で推移しましたが、依然として海外経済の不確実性や人手不足の深刻化が懸念されるおります。当社グループを取り巻く事業環境は、室内装飾品関連（カーテン等）市場に影響を及ぼします新設住宅着工総戸数は減少しております。

このような状況の下、当社グループはメインブランドであります「インハウス」見本帳を、平成29年5月に5年ぶりに大幅改訂しました。

売上高は、室内装飾品関連は主に景気の回復が遅れている専門店への販売が振るわず減少となり、IT関連では平成29年10月6日付で子会社の株式会社レックアイが当社グループから外れ、平成29年7月に設立しました株式会社キュアリサーチの先端医療検査に関わるサービス事業では、遺伝子検査の事務代行サービスの開始が遅れるなど、全体では大幅な減少となりました。

利益面におきましては、販売費及び一般管理費において見本帳「インハウス」の改訂に係る販売促進費用等の増加、営業外費用として第三者割当増資に伴う株式交付費の発生により、損失は拡大しました。

以上の結果、売上高は前年同四半期比15.1%減の1,291百万円、営業損失は183百万円（前年同四半期は100百万円の営業損失）、経常損失は218百万円（前年同四半期は104百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は172百万円（前年同四半期は93百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

第4四半期におきましては、室内装飾品関連では引き続き見本帳「インハウス」による販売強化を実施するとともに、遅れております株式会社キュアリサーチの先端医療検査に関わるサービス事業を平成30年2月以降に開始し、収益拡大を目指してまいります。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

なお、当第3四半期連結累計期間より、報告セグメントごとの業績を適切に反映させるため、全社費用の配分基準を見直し、事業セグメントの損失の算定方法の変更を行っております。

(室内装飾品関連)

売上高は、主に景気の回復が遅れている専門店への販売が振るわず減少いたしました。

以上の結果、売上高は前年同四半期比0.8%減の1,049百万円、「インハウス」の販売促進費用等の増加により営業損失は98百万円（前年同四半期は33百万円の営業損失）となりました。

(IT関連)

株式会社レックアイが当社グループから外れたことにより、結果として売上高は前年同四半期比43.1%減の241百万円、営業損失は59百万円（前年同四半期は40百万円の営業損失）となりました。

(その他)

先端医療検査に関わるサービス事業の遅れにより売上高の計上はありませんでした（前年同四半期の売上高は38百万円）。

また、株式会社キュアリサーチの事業開始費用の発生等により営業損失は26百万円（前年同四半期は26百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ136百万円減少して1,035百万円となりました。これは現金及び預金が145百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が279百万円減少したことなどによります。固定資産は、39百万円減少して624百万円となりました。これは、長期貸付金が35百万円増加したものの、投資その他の資産のその他（出資金等）が53百万円減少、ソフトウェア仮勘定が30百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ176百万円減少し、1,659百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ271百万円減少して313百万円となりました。これは、短期借入金が82百万円減少、1年内返済予定の長期借入金が71百万円減少、支払手形及び買掛金が63百万円減少、未払消費税等が31百万円減少したことなどによります。固定負債は、187百万円減少して235百万円となりました。これは、長期借入金が195百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ458百万円減少し、549百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ281百万円増加して1,110百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失が172百万円になったものの、第三者割当増資により資本金及び資本剰余金がそれぞれ226百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、室内装飾品関連では、景気の回復が遅れていた専門店への販売が上向き始めており、また、マンション業者への販売が堅調に推移することが予想されますが、全体では、当初の見込みを挽回するまでに至らないと考えております。

また、遅れております株式会社キュアリサーチの先端医療検査に関わるサービス事業につきましては、平成29年12月に設備が整いましたので、平成30年2月以降に事業を開始することを予定しておりますが、当社グループから外れました株式会社レックアイの当初の見込みを補うことは出来ないと思われまます。

利益面におきましては、特別利益として株式会社レックアイの株式譲渡の売却益を計上するものの、株式会社レックアイの第2四半期累計期間までの損失が大きく、当初の見込みが黒字であったこともあり、全体では損失が拡大される見込みです。

当連結会計年度(平成30年3月期)の業績見通しにつきましては、連結売上高1,800百万円、連結営業損失140百万円、連結経常損失180百万円、親会社株主に帰属する当期純損失140百万円を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	332,184	477,301
受取手形及び売掛金	499,219	220,135
商品	282,525	277,654
仕掛品	14,253	-
原材料及び貯蔵品	16,819	11,315
繰延税金資産	12,582	-
1年内回収予定の長期貸付金	-	20,929
未収消費税等	-	1,160
その他	20,542	28,453
貸倒引当金	△5,939	△1,414
流動資産合計	1,172,188	1,035,536
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	129,201	131,307
機械装置及び運搬具(純額)	177	0
土地	289,500	289,500
リース資産(純額)	6,705	11,320
建設仮勘定	13,490	-
その他(純額)	4,501	12,198
有形固定資産合計	443,574	444,226
無形固定資産		
のれん	7,253	-
商標権	151	127
電話加入権	21	-
ソフトウェア	17,703	-
ソフトウェア仮勘定	65,201	35,000
無形固定資産合計	90,331	35,127
投資その他の資産		
投資有価証券	28,117	29,291
長期貸付金	-	35,736
破産更生債権等	103,194	104,223
差入保証金	45,139	76,234
その他	56,915	3,370
貸倒引当金	△103,194	△104,223
投資その他の資産合計	130,172	144,633
固定資産合計	664,078	624,087
資産合計	1,836,266	1,659,624

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	153,355	89,473
短期借入金	143,500	61,000
1年内返済予定の長期借入金	158,786	86,952
リース債務	1,211	2,183
未払法人税等	21,879	9,621
未払消費税等	31,085	-
賞与引当金	15,999	5,600
受注損失引当金	970	-
その他	57,622	58,415
流動負債合計	584,410	313,246
固定負債		
長期借入金	367,058	171,129
リース債務	5,522	9,278
繰延税金負債	2,824	3,597
退職給付に係る負債	35,489	39,634
役員退職慰労引当金	5,324	5,324
資産除去債務	6,977	6,977
固定負債合計	423,195	235,940
負債合計	1,007,606	549,186
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,157,709	1,384,509
資本剰余金	471,005	697,805
利益剰余金	△809,763	△981,799
自己株式	△559	△747
株主資本合計	818,391	1,099,767
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,268	10,669
その他の包括利益累計額合計	10,268	10,669
純資産合計	828,660	1,110,437
負債純資産合計	1,836,266	1,659,624

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	1,520,893	1,291,012
売上原価	834,465	713,150
売上総利益	686,427	577,862
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	257,178	254,938
賞与	14,231	10,587
賞与引当金繰入額	33,781	8,929
貸倒引当金繰入額	25,715	△4,484
退職給付費用	5,526	5,477
業務委託費	36,084	44,931
賃借料	47,244	49,604
減価償却費	15,648	17,008
のれん償却額	2,720	1,813
支払手数料	17,579	-
その他	331,001	372,684
販売費及び一般管理費合計	786,711	761,491
営業損失(△)	△100,284	△183,629
営業外収益		
受取配当金	697	745
為替差益	977	176
保険解約返戻金	509	16
その他	7,370	7,567
営業外収益合計	9,555	8,505
営業外費用		
支払利息	9,898	7,225
売上割引	381	567
持分法による投資損失	1,575	5,234
株式交付費	-	27,714
その他	1,573	2,687
営業外費用合計	13,430	43,429
経常損失(△)	△104,159	△218,552
特別利益		
関係会社株式売却益	-	60,396
違約金収入	24,434	-
特別利益合計	24,434	60,396
特別損失		
固定資産除却損	11,994	299
特別損失合計	11,994	299
税金等調整前四半期純損失(△)	△91,719	△158,455
法人税、住民税及び事業税	8,105	7,434
法人税等調整額	△6,254	6,146
法人税等合計	1,851	13,580
四半期純損失(△)	△93,570	△172,035
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△93,570	△172,035

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純損失(△)	△93,570	△172,035
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,695	400
その他の包括利益合計	5,695	400
四半期包括利益	△87,874	△171,635
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△87,874	△171,635

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

当社は、平成29年5月19日開催の取締役会決議に基づき、平成29年6月29日開催の定時株主総会における承認を経て、檜崎幹雄氏、大村寿男氏、大村正恵氏、吉村栄治氏、青木敏氏、木村昌弘氏、株式会社木村建設及び株式会社B Tホールディングより、平成29年6月30日を払込期日とする第三者割当増資の払込みを受けました。

これに伴い、資本金及び資本準備金がそれぞれ226,800千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,384,509千円、資本剰余金が697,805千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	室内装飾品 関連	I T関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,057,983	424,109	1,482,093	38,800	1,520,893
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,057,983	424,109	1,482,093	38,800	1,520,893
セグメント損失(△)	△33,326	△40,385	△73,711	△26,572	△100,284

(注)1 その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗料等であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「I T関連」セグメントにおいて、株式会社レックアイを連結子会社化したことにより、のれんの金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては10,880千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

株式交換により株式会社レックアイを完全子会社化し、同社の事業であるシステム開発及び販売等を新たな報告セグメント「I T関連」として、第1四半期連結累計期間より追加し、また、従来「環境関連」を報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結累計期間より、金額的な重要性が乏しいことから「環境関連」の記載を省略しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	室内装飾品 関連	I T関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,049,552	241,459	1,291,012	—	1,291,012
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,049,552	241,459	1,291,012	—	1,291,012
セグメント損失(△)	△98,027	△59,486	△157,514	△26,114	△183,629

(注)1 その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メディカル関連等であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「I T関連」セグメントにおいて、株式会社レックアイの株式売却に伴い、のれんの金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの減少額は、当第3四半期連結累計期間においては5,440千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結累計期間より、報告セグメントごとの業績を適切に反映させるため、全社費用の配分基準を見直し、事業セグメントの損失の算定方法の変更を行っております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の損失の算定方法により作成したものを記載しております。